昭和二年七月一日 京都帝國大學新聞 第三種郵便物認可 大正十年四月十五日第三種郵便物認可 第五十六號（一）（金曜日）

京都帝國大學新聞

生物學上より見たる 近親婚と雜婚 ［下］

理學部教授 駒井卓

雜婚

これ等の關係は遺傳の現象によつて與へられるものであるが、新しい組合せ中には必ずしも優良なものもあるが劣等なものもある。あまり極端の違いものの間では雜種が出來ない。それは受精の際の精子と卵子との間に一種の親和力が働くからである。例へば海胆の精子は同種の卵子には入り得るが他種の卵子には入り得ない。又蛙の精子は同種の卵子には入り得るが海胆の卵子には入り得ない。この親和力は種類の遠いものの間には働かないのである。

雜種が出來ても、それが次の代に子孫を殘すことが出來ないことがある。それは發育の途中で死んでしまふからである。又發育が出來ても、それが生殖細胞を作る場合に、減數分裂の際に染色體の對合が出來ないからである。例へば馬と驢馬との間の雜種である騾馬は體が強く耐勞力が强いが、決して子孫を殘すことが出來ない。

雜種

既に八回を重ねた
學友會調査委員會
本質論より官制の運營調査に
審議の上報告は十月頃か

學友會調査委員會は、學友會の現狀に鑑み、學友會の本質、目的、組織、經營、會費、會館、會報、學生課の機能、學生主事の職務、學生部の組織、學生主事の選任、學生課の組織、學生課の職務、學生主事の職務、學生部の組織、學生課の職務

東大側の都合で 運動週間遂に廢止

新人對都競技が行はれやう

五月の頃、東大艇より慶應艇が入部して、昨年の敵を討つべく猛練習を開始したが、東大艇に於ても慶應艇に敗北を喫したる事を遺憾とし、再び敗北の憂目を見ざるべく、猛練習を續けつゝあるが、慶應艇の猛練習に對抗するため、東大艇も

山言葉

新村出

戦場日本アルプスあたりの山言葉から出て登山会にも頻りに流行し、また一般の人々にも愛用されて来ている山言葉も少くない。トテモは言うまでもなくカタテモの略であることは勿論であるが、この語は元来は関西地方の山言葉であったらしい。関東へ出て来ると、関西人のトテモ、トテモ、と言うのが耳について、ひどいときには、トテモ東京の人間にはなれないなどと悪口をいわれるほどであった。甲州辺でもトテモを頻用するが、これは関西語の影響であろう。トテモは、トテモカテモの略で、トテモ出来ない、トテモ行けない、トテモ食べられないなどと否定の場合に用いられるのが普通であるが、トテモ結構だ、トテモ美しい、トテモ面白いなどと肯定の場合にも用いられる。トテモ結構だ、トテモ美しい、トテモ面白いなどと肯定の場合にも用いられる。トテモ結構だ、トテモ美しい、トテモ面白いなどと肯定の場合にも用いられる。トテモ結構だ、トテモ美しい、トテモ面白いなどと肯定の場合にも用いられる。

無駄話

つゆのはれま

一、京都の小劇場

京都の小劇場生活は、描いて見ると随分面白いものになるだろうと思う。

二、アリエテ

アリエテを見てのヘボが観覚するなどはまだいいとしても、一回ヤルと、もう癖になって、一回ヤルと、もう癖になって、一回ヤルと、もう癖になって